

代表質問

各会派の代表者が市長の施政方針に対する代表質問をしました。
2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



真政会



(質問者：黒川 輝男 議員)

施政方針について

問 ①教育福祉の充実について。針谷市政8年間に、給食費無償化、学校施設改修、ICT教育の充実化など、ハード面での教育環境は素晴らしいが、教育の要である、道徳等の精神面での教育にどう取り組むのか伺う。②産業の育成について。農業は重要な産業の一つである。農家の育成にどう取り組むのか。具

体的施策、手法を伺う。③生活環境について。古河地区のごみ処理施設の今後と、指定ごみ袋有料化の方針、展開について伺う。④都市基盤づくりについて。大堤南部地区の区画整理や新駅誘致、未来法での開発を伺う。

答(市長) ①社会の変化に柔軟に対応し、未来を切り開く人材を育成するため、教育環境の整備と豊かな心の育成を両輪として取り組みたい。②後継者不足対策で、国の経営継承・発展等支援事業を活用した補助を実施している。また、県が事業主体となり、市内4地区で農地の圃場整備をしている。農家の営農効率の向上等にもなるので、事業の早期完成に努めたい。③古

河クリーンセンターは、一般的な施設寿命の30年が経過し、将来的な継続は難しい。跡地利用等を有効活用できるよう検討したい。指定ごみ袋導入は、さしま環境管理事務組合で決定した、ごみ減量化に関わる取り組みである。市民の協力が必要なため、丁寧な説明を行い、理解を得ながら進めたい。④スポーツ施設等の新たなにぎわい拠点の整備は、地域未来投資促進法の基本計画の趣旨に沿うものである。大堤南部地区のまちづくりと、新駅設置の起爆剤にもなると考えており、今後、南側エリア拡張と施設等の誘致を研究し、魅力的なまちを目指していきたい。



政友会



(質問者：小森谷 博之 議員)

(仮称)古河市新公会堂について

問 PPP^(※)を用いたPFI^(※)の活用は、財政負担の軽減や効率的な公共サービスの提供を目的としているが、適切な契約管理や透明性の確保が不可欠である。行政が十分な監督能力を持ち、民間とのバランスを適切に取ることにより、子どもから高齢者まで多くの市民に親しまれる文化拠点として、市民の声を

大切にしながら進めていただきたい。

答(市長) 市内の文化的な施設や、スポーツ施設については、指定管理者制度という形で民間委託している。その経験を踏まえ、提案のあった事業者2者との協議を重ね、民間企業の参画意欲を高めたい。透明性といった課題をクリアするために、本年度予算化したアドバイザー委託を考えている。今後は市民説明会などの開催で情報共有を図り、市民に親しまれる文化交流拠点整備を進めていきたい。

で約1年間あるが、ごみ袋有料化と仕分け細分化が市民に十分に浸透し、混乱なく施行日を迎えられるよう、周知方法の具体性と効果を伺う。

答(市長) 今回の取り組みは、有料化してお金を取ることを目的ではなく、指定ごみ袋の導入で、ごみの減量化を目指している。環境負荷の軽減や、カーボンニュートラルへの貢献も期待されるため、目的や意義について、市民へ丁寧な説明を行い、理解を得ながら進めていきたい。



ごみ袋有料化について

問 令和8年4月1日の施行ま

※PPP…公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念

※PFI…PPPの枠組みの一つで、民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して、公共施設等の建設、維持管理を行う手法